ながおか
建設だより

第96号
令和７年１月20日発行

一般社団法人
長岡市建設業協会
長岡市三和3丁目8番地
TEL 0258(32)3206㈹
sikyokai@nct9.ne.jp

印刷所　北越印刷株式会社

新年にあたって

一般社団法人
長岡市建設業協会
会長　本田浩太

明けましておめでとうございます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年で、阪神・淡路大震災から、三十年が経ちました。この三十年間で中越大地震、中越沖震災、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震等、日本各地で地震が発生し、災害に見舞われてきました。

中越地震の災害時、「がんばろう！中越」の合言葉の下、当協会としても全力で復旧工事に当たりました。

このような経験を活かして、長岡地域の安全・安心を守る「地域の守り手」として、これまで以上に地域社会の発展に貢献してまいりたいと考えております。

昨年十月の長岡市長選挙において、当協会の要望の五項目について、磯田市長から前向きな回答をいただきましたが、現在までに具体的な成果には至っておりません。

ただし、先日、長岡市から経済対策の一環として、現在の最低制限率（下限価格）九〇％を四月から引き上げるとの回答がありました。

今年も、令和二年一月から試行的に導入された長岡市の『変動型最低制限価格制度』について、新潟県に準じた入札制度への変更に向けた要望活動を実施していきます。

さらに、長岡市発注工事に対する提出書類の簡素化・電子化についても、長岡市の関係課と協議を重ねるとともに、意見交換会も積極的に開催していきます。

建設業界では、将来の担い手確保が大きな課題となって言います。さらに、慢性的な人手不足や原材料高など、ますます厳しい経営環境が続きますが、建設業の魅力向上と持続性の確保に向けて、長岡市をはじめ関係団体と一丸となり「地域力の強化」に取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のますますのご発展とご多幸を心から祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

会員親睦ゴルフ大会

会員親睦ゴルフ大会が、八月二十二日（木）に会員二十五名が参加して、長岡カントリー倶楽部で開催されました。

上位入賞者は次のとおりです。

優　勝　小林利紀さん（大幸建設）
準優勝　捧　孝俊さん（北澤工業）
三　位　近藤正規さん（中元組）

令和６年度　主な活動報告

月　日	項　目
５月16日	令和６年度定時総会・懇親会（長岡グランドホテル）
８月３日・４日	長岡まつり大花火大会の会場早朝清掃（長岡地域） ＜参加者＞３日：27社・76名、４日：22社・54名
８月22日	会員親睦ゴルフ大会（長岡カントリー倶楽部）
８月28日	令和６年度長岡市政等に関する要望（磯田市長）
９月25日	磯田市長による『特別研修会』＜参加者＞53社・61名
10月17日から 10月19日	会員研修旅行（新潟県建設業協会長岡支部と合同） しまなみ海道とレトロな街内子と松山の旅３日間
１月16日	合同新年会（長岡グランドホテル）

新年のご挨拶

長岡市長
磯 田 達 伸

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

長岡市建設業協会の皆様におかれましては、日頃から、市民の安全・安心な暮らしを支えていただき、心から感謝申し上げます。

昨年十月の市長選挙においてご信任を賜り、引き続き市政を担わせていただくことになりました。これからの四年間も、社会の変化にしっかりと対応し、市民の暮らしを全力で守ってまいります。

東京一極集中により人口減少が加速する中、長岡市は中越圏域の拠点都市として、医療・福祉・教育・子育て支援のさらなる充実を図るとともに、生活インフラの整備やイノベーションの継続による産業振興などに全力で取り組みます。

そして、人の流れや企業の拠点分散の受け皿となることで、「選ばれるまち長岡」を実現してまいります。

昨年、長岡市は下水道事業百周年を迎え、寿町に新たな排水ポンプ場を整備しました。地域の排水機能が格段に向上し、浸水被害を大幅に軽減できるようになりました。

そして、道路事業では、左岸バイパス北延伸が開通し、今後も南延伸や北陸自動車道「大積スマートインターチェンジ（仮称）」の整備事業など、利便性の高い幹線道路整備を着実に進めてまいります。

また、国土強靭化の取組を継続し、土木インフラの保全対策もしっかりと進めてまいります。

さらに、道路除雪においては、降雪時、皆様からの迅速な対応により、市民の安全・安心な暮らしを守っていただいているところですが、昨年より、長年、除雪作業に従事していただいた事業者・技術者の方へ、除雪功労者表彰を実施しており、引き続き、貴協会の皆様のお力添えをお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、健やかで実り多い年になりますことを祈念し、新年のあいさつといたします。

令和６年度 安全功労者表彰

５月30日、長岡建設会館において、次の方々が安全功労者として表彰されました。

賞名	会社名	氏名
功労賞	㈱曙建設	青柳 樹
功労賞	椿建設㈱	椿 辰英
職長賞	㈱中越興業	鈴木潤也

令和６年 秋の叙勲
大石保男氏が旭日双光章

新潟県建設業協会長岡支部（当協会理事）の大石支部長が旭日双光章を受賞されました。

おめでとうございます！

会員の異動

代表者の変更

会社名	変更前	変更後	変更日
長陵石産 株式会社	白倉治雄	西脇 宏	令和６年６月７日
株式会社 河田建設	河田 誠	河田佳佑	令和６年８月１日

退会

会社名	退会日
株式会社 白井工業所	令和６年９月３日

商号変更

会社名	変更前	変更後	変更日
株式会社 佐藤建設	有限会社	株式会社	令和６年５月31日

※会員数（令和７年１月20日現在）74社（正会員65社、準会員９社）

会員研修旅行　四国・松山

今年度の会員研修旅行は、10月17日（木）から19日(土)までの３日間､38名が参加し、１日目は｢レトロな街内子」を散策・見学しました。

２日目は､快晴の空の下､｢しまなみ海道」観光コースと「エリエールＧＣ」ゴルフコースにそれぞれ分かれて旅行を満喫しました。

３日目は､｢坂の上の雲ミュージアム」を見学し、｢松山城」｢道後温泉」を散策して､帰路につきました。このように、多くの体験と思い出に残る有意義な研修旅行となりました。

今年のトピックス

会員随想

アルウィビレックス!!!

㈱中越興業　細川一彦

「一年が過ぎるのって歳取ると年々早く感じるよなぁ」、「今年1年思い出に残ることしたかなぁ」

こんな台詞1度は言ったことありませんか？

令和7年が始まったばかりですが、昨年は皆様どんな年でしたでしょうか。仕事にゴルフにプライベートに充実していましたでしょうか。ちなみに私は去年1年間を振り返った際の1番の思い出を聞かれると、タイトルにもあるアルビレックス新潟の試合が出てきます。（なお1番苦い思い出は建設業協会旅行2日目松山の夜です笑）

２０２４年11月2日、戦いは朝からはじまっていた。

当日、東京行きの新幹線チケットは始発から10時台までグリーン車含めすべて完売。私は指定席のチケットを持っていない。朝一の地方ニュースを観ると新潟駅は朝5時から始発の自由席を求め長蛇の列が連なっているとのこと。「さてどうすんべ…」と悩んでいると前乗りしていた同行者でもある建設業協会本部の社員さんから連絡が。

社「細川さん、今日は10時には国立競技場前集合ね。今、電車どの辺ですか？」

私「今は長岡の自宅でまったりコーヒー飲んでますよ（現在時刻9時）」

鬼のように怒られたあげく、急いで準備して試合開始にギリギリ間に合う激混み新幹線に飛び乗って1時間40分おしくらまんじゅうしながら東京へ向かいました。ということで前置きがかなり長くなってしまいましたが、この日私は東京の国立競技場で開催されたサッカールヴァンカップ決勝「アルビレックス新潟ｖｓ名古屋グランパス」を現地観戦してまいりました。何を隠そう私20年来のアルビサポでシーズン中は一喜一憂しております。仕事の予定がない土日はたいがいビッグスワンに居ます。もしくは長岡カントリー倶楽部。昔はゴール裏のサポ席でぴょんぴょん飛び跳ねていましたが、最近は歳とともに限界を感じてきてゴール横の席からまったりと観戦しているのがほとんど。ゴール裏いったことある方はわかると思いますが、90分間立ち続けて応援するのってめちゃくちゃ体力使うんですよ。試合出てるわけでもないのに試合後は足パンパンになります。

さて話は11月2日に戻りまして、当日国立競技場は観客6万5千人の超満員。オレンジと赤の両サポーターで真っ二つに分かれて大迫力のチャント応酬。試合結果はご存じの通り、延長ＰＫ戦の末アルビ惜敗の準優勝でした。20年以上アルビの試合を観てきましたが、ここまで興奮感動した試合はありません。小見ちゃんの同点ＰＫで泣き、長倉の涙でもらい泣きし。いつもは負けると悔しさしか残らないのですが、この試合だけはただただ満足感でいっぱいの一日でした。ちなみに帰りの東京駅もアルビサポと名古屋サポで溢れかえっていたのは言うまでもありません（サポは皆ユニフォームのまま帰宅するのですぐわかる）。

趣味がある、ということは生きるうえで非常に大切だと思います。この寄稿文を読んでいる方はおそらく経営者が多いと思いますので、「仕事が趣味」という方もいらっしゃるかと思います。しかし仕事に行き詰まった時、経営で悩んだ時に、一瞬でもその悩みを忘れられる何かを持てるのは素晴らしいことです。人間、精神的にも体力的にもリフレッシュされた状態がもっともパフォーマンスを発揮できると思います。私の場合はそれがゴルフであり、アルビ観戦であります。アルビは今年もなんとかＪ1でプレイすることができます。去年はホーム戦で4回しか勝ってないので、今年はせめて2桁はホーム戦勝利を期待したい。それによって私の月曜日のテンションが全然変わってきますので。

なんかとりとめのない日記みたいになってしまったこと、お許しください。文章書くとか大学生以来でした。そういえばこの建設だよりが発行される頃は私の誕生日付近（1月14日）なので、誕生日プレゼントも随時お待ちしております。

結びになりますが、令和7年も皆様にとって素敵な年になることを祈念してこの文章を閉じさせていただきます。アイシテルニイガタ!!